

関西大学国文学会

橘宿祢賜姓祝宴心詔歌の意義……………大濱眞幸(一)

——その謡詠者としての奈良麻呂をめぐって——

顕昭における「拾遺集」とその本文……………小倉嘉夫(二五)

後拾遺集における和泉式部歌享受……………藤川晶子(二六)

——百首歌を中心に——

「今昔物語集」の構造・その生成と破綻……………吉岡賢一(三〇)

「天満千句」抄粗注……………乾裕幸(三六)

(書評)

関屋俊彦著「狂言史の基礎的研究」……………鶴崎裕雄(四〇)



平成六年十一月
第七十二号